

基調講演



あさの りょう

浅野 亮 氏

同志社大学法学部政治学科教授

国際基督教大学教養学部卒、同 行政学研究科、香港中文大学、国際基督教大学行政学研究科修了。東京大学教養学部後期課程地域文化研究科非常勤講師、大学院総合文化研究科客員教授などを経て現職。専門分野は、現代中国政治、人文・社会、国際関係論など。著書に、『習近平の軍事戦略「強軍の夢」は実現するか』（共著、2023年）『概説 近現代中国政治史』（共著、2012年）、『肥大化する中国軍：増大する軍事費から見た戦力整備』（共著、2012年）、『中国軍は何を目指しているか』（共著、2011年）、『中国の軍隊』（単著、2009年）、ほか多数。



第1セッション

中国の国家・軍事戦略

前後10年の考察

第1セッションでは、「10年」をキーワードに基調講演から示唆を得て、我が国を取り巻く安全保障環境を深く認識する

わかばやしひろかず

若林 裕和 1等空佐

(航空研究センター事態対処研究室長)

姫路獨協大学外国語学部中国語学科卒業、米陸軍防空学校Captain's Career Course修了、航空自衛隊幹部学校幹部高級課程修了、統合幕僚学校統合高級課程修了、同統合特別課程修了。

航空自衛隊入隊後、西部航空方面隊司令部防衛課、航空幕僚監部運用支援課、同情報通信課、航空総隊司令部運用課、第2高射群第8高射隊長(兼ねて高良台分屯基地司令)、航空幕僚監部補任課、航空総隊司令部運用課作戦副室長兼Strategy Division長、航空幕僚監部教育課術科教育班長、第3高射群副司令などを経て現職。

おぎの まさし

荻野 匡史 1等空佐

(航空研究センター防衛戦略研究室長)

防衛大学校航空宇宙工学科卒業、オランダ国防大学欧州安全保障課程修了、中国人民解放軍国防大学国際問題研究課程修了、防衛研究所一般課程修了。航空自衛隊入隊後、外務省北米局日米安全保障条約課課長補佐、第6航空団修理隊長(小松基地)、第9航空団整備補給群司令(那覇基地)、航空幕僚監部整備・補給課長などを経て現職。2015年から2018年まで、在中国防衛駐在官(その間、空軍武官団長)として、同時期に開始された習近平主席の中国軍改革や軍民融合戦略の動向などを実地に確認。





おおいそ みつのり

大磯 光範 3等空佐

（航空研究センター研究員）

復旦大学国際関係・公共事務学院卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了、台湾国立政治大学東亜研究所博士課程在学中。在上海日本国総領事館専門調査員、在中国日本国大使館専門調査員、在日米陸軍キャンプ座間第441軍事情報大隊技術報道分析員、日本台湾交流協会台北事務所専門調査員などを経て航空自衛隊に入隊。専門分野は、比較政治学、地域研究（中国）、国際関係論中国学派など。仏空軍航空戦略研究センター(CESA)学術誌『Vortex』、交流協会情報誌『交流』などに多数寄稿。



みやけ やすゆき

三宅 康之 氏

（関西学院大学国際学部教授）

博士（法学）。京都大学法学部卒業、カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係論大学院修士課程修了、京都大学大学院法学研究科修士課程修了、同博士課程単位取得退学。愛知県立大学外国語学部准教授在任中に在香港日本国総領事館専門調査員、シンガポール国立大学東アジア研究所客員フェローを経て現職。専門分野は、中国政治研究、冷戦史研究など。著書に、大平正芳記念賞を受賞した『中国・改革開放の政治経済学』（単著、2006年）、『デタントから新冷戦へ』（共著、2022年）ほか多数。



つちや たかひろ

土屋 貴裕 氏

（京都先端科学大学経済経営学部准教授）

安全保障学博士。慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科卒業、一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了、防衛大学校総合安全保障研究科後期課程卒業。外務省国際情報統括官組織第二情報統括官室専門分析員、在香港日本国総領事館専門調査員などを経て現職。専門分野は、公共経済学、国際政治経済学、安全保障論など。著書に、『習近平の軍事戦略：「強軍の夢」は実現するか』（共著、2023年）、『現代中国の軍事制度：国防費・軍事費をめぐる党・政・軍関係』（単著、2015年）ほか多数。

第2セッション

安全保障とエア・パワー

前後10年の考察

第2セッションでは、第1セッションを踏まえて「10年」をキーワードに我が国のエア・パワーの在り方やこれらを支える体制（態勢）等を議論する

やまぐち よしひろ

山口 嘉大 1等空佐

（航空研究センター長）

防衛大学校地球科学科卒業、米空軍大学指揮幕僚大学卒業、防衛研究所一般課程修了、政策研究大学院大学戦略研究プログラム修了、米国防大学情報・サイバー空間大学修了。

航空自衛隊入隊後、北部航空警戒管制団第33警戒隊長（兼ねて加茂分屯基地司令）、航空幕僚監部防衛部情報通信課、同 人事教育部人事計画課制度班長、第9航空団基地業務群司令、航空研究センター研究企画管理室長などを経て現職。

まえだ たかすけ

前田 章輔 1等空佐

（航空研究センター運用理論研究室長）

名古屋大学文学部人文学科地理学卒業、英空軍ヘンダーソンフェローシッププログラムにより英国エクセター大学国際関係論卒業。

航空自衛隊入隊後、南西航空混成団司令部運用課、統合幕僚監部計画課、航空幕僚監部防衛課、第1高射群第3高射隊長（兼ねて霞ヶ浦分屯基地司令）、内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付などを経て現職。



やまもと さとし

山本 哲史 3等空佐

（航空研究センター研究員）

学術博士。神戸商船大学卒。名古屋大学大学院国際開発研究科修士・博士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科特任准教授、モンゴル国立大学法学部日本法教員などを経て現職。東京大学、成蹊大学等にて教鞭をとる。専門分野は戦略、国際法、人権、難民。著作に「無人機とエア・パワー戦略」『エア・アンド・スペース・パワー研究』2021年、「ロシアのウクライナ侵攻はなぜ経済制裁では止められないのか—戦略論から見た駆け引きのツールとしての経済制裁の機能分析—」『安全保障戦略研究』2023年、ほか多数。



つかもと かつや

塚本 勝也 氏

（防衛研究所 戦史研究センター 安全保障政策史研究室長）

国際関係論博士。筑波大学卒。青山学院大学大学院を経て、フルブライト奨学生としてタフツ大学フレッチャー法律外交大学院留学。同修士・博士課程修了。防衛研究所理論研究部社会・経済研究室長などを経て現職。専門分野は、安全保障論。編著書・訳書に、『エア・パワー：その理論と実践』（共編著、2005年）、『戦略原論』（共編著、2010年）、『エドワード・ルトワックの戦略論』（共訳、2014年）、『戦争と技術』（訳、2020年）『拒否戦略 中国覇権阻止への米国の防衛戦略』（共訳、2023年）ほか多数。



すぎもと あきら

杉本 晃 氏

（三菱重工業株式会社 防衛・宇宙セグメント航空機・飛昇体事業部技師長）
航空機・飛昇体事業部航空機技術部主席プロジェクト統括、同航空機技術部長などを経て現職。同社における航空自衛隊次期戦闘機の開発責任者を務める。

